

平成29年度が始まりました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。
ご笑覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all. No.19

*エイリョウ・アラカルト 「豊かな心」

5月2日（火）から7日（日）まで6連休に突入します。「学習」「部活動」「社会貢献」など生徒個々に活動内容は異なりますが、いずれにしても安全に、そして有意義な連休にしたいものです。

話は変わりますが、最近「連休」とか「ゴールデンウィーク」といった言葉だけが頻繁に使用され、一日一日の「祝日」の意味を理解していない若者が増えているそうです。「国民の祝日」はある事柄を記念すべき日であり、日本固有の文化を象徴するものでもあります。

「国民の祝日に関する法律」の第一条に、「自由と平和を求めてやまない日本国民は、美しい風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築き上げるために、ここに国民こぞって祝い、感謝し、又は記念する日を定め、これを『国民の休日』と名づける。」と制定しています。

ちなみに2日（火）は「開校記念日」で国民の祝日ではありませんが、3日（水）は「憲法記念日」（日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する日）、4日（木）は「みどりの日」（自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ日）、5日（金）は「こどもの日」（こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する日）となっています。特に5日は「母に感謝」する日でもあるんですね。

祝日の意に沿う行動がとれなくれも、心でその意味を深く感じることはしてみたいです。



生徒ロビーに飾られた「兜」

All for one, and one for all. No.20

H29. 5. 8 「前期生徒総会」

8日～10日まで出張のため学校を不在にし、連休も含め久しぶりの更新となります。



さて、8日（月）に行われた「前期生徒総会」では、生徒会執行部や各委員会委員長から「今年度の抱負」が述べられ、続いて「活動計画や活動内容」について全校生徒で審議がなされました。

昨年度は、特に「いじめ根絶宣言」「どさんこ・子どもサミット」「特別支援学校との交流」など新たな活動を企画し精力的に取り組んでくれました。今年度はこれまでの活動をより充実させることで意見がまとまったようです。

また、生徒への情報発信となっている執行部通信「玲瓏（れいろう）」も順調に発行さ

れ、早9号を数えました。生徒会執行部の思いや考えを全校生徒が共有することは、組織として実践に移す上で極めて重要なことです。生徒の主体的な思いや考えが、具体的な取組となって数多く顕れてくれることを願っています。

本校にはもう一つ生徒主体の話し合いの場があります。執行部と各クラスの代議員によって構成される「永嶺を語る会」です。第1回目では、「被災地支援に向けて高校生としてできること」などが話し合われたようです。今後、それらが具体的にどのような形になっていくのかが実に楽しみです。

All for one, and one for all. No.21

H29. 5. 8 「交通安全集会」

主に自転車の乗り方など交通安全意識を高めることを目的に、外部講師を招いた「交通安全集会」を実施しました。自転車運転シュミレーターを活用した交通安全講話に、生徒たちも事故の怖さを痛感したことでしょう。

最近では「自転車に乗っている側が加害者になる」ケースも増えており、相手側の怪我の状態によっては多額の賠償金が発生することもあります。被害者にならないために、同時に加害者にもならないよう、危険運転は絶対に避けなければなりません。



また、小さな子どもたちが高校生の自転車の乗り方を真似ることを考えると、そこには「自分は大丈夫だから」では済まされない「別の意味の怖さ」があります。

本校では、自転車通学の条件として「保険への加入」を義務づけていますが、登下校のみならず、日常生活においても安全運転、そしてマナーの遵守を心がけてください。

最後に、生活常任委員長が「交通安全宣言」を読み上げ、「事故に巻き込まれない、事故を起こさない」ことを誓いました。

All for one, and one for all. No.22

H29. 5. 10～12 「宿泊研修1日目」

1年次最大の行事「宿泊研修」が国立大雪青少年交流の家で始まりました。毎年この行事を境にクラスや年次の結束が深まり、生徒も伸び伸びと活動するようになります。この研修の目的は、「規律ある生活習慣を身につけること」「好ましい人間関係を築くこと」「自主自立の精神を培うこと」「進路や将来を真剣に考えること」です。

その目的を達成するために、様々な「研修プログラム」を準備しています。



1日目の【研修1】は、3年間の高校生活を有意義なものにするための「ガイダンス」、【研修2】は、相手の気持ちを考えながら心を通わせる「グループ別構成エンカウンター」、【研修3】は、前回実施したR-CAP（適性検査）の結果を基に「自分の適性にあった学問や職業の考察」、【研修4】は、

校歌をしっかりと覚える「合唱練習」、そして初日最後の【研修5】は、クラス対抗の各種ゲームを通して「親交を深め合い」を実施しました。



これらの研修を通して、生徒一人一人が主体性や社会性、協調性を身につけ、秘めていた能力を発揮していきます。

また、寝食を共にした仲間との絆は卒業してからも大切な思い出として残ります。

この3日間の様々な体験を通して、一人一人が大きく成長してくれることでしょう！



All for one, and one for all. No.23

H29. 5.11 「2年次選択科目ガイダンス」

現2年次生は単位制新設校開設当時の入学生になることから、既に多岐にわたる選択群から個々に必要な科目を決め授業を受けています。今日の説明会は将来の進路希望に合わせ、「3年次で選択すべき科目内容の理解」がねらいとなっています。

単位制の特色は、皆が同一の授業を受けるのではなく、多様な科目群の中から個々の進路希望に合う科目を選択し、独自の時間割を作成するところにあります。そのため、この時期は特に「自分の進むべき道」を真剣に考えなければなりません。「2年次になったばかりなのに」と思いがちですが、進路実現のためには今こそ明確な目標を持って学習していかなければ間に合わないのが現実です。



この時期、私たちが特に大切に思うことは「お子様と保護者との対話」です。どういう道に進むかをよく話し合い、理解し合い、漠然とした思いを徐々にはっきりとしたものにしていく時期でもあります。「目標」が決まれば「計画」が立ちます。そしてそれが「やる気」へとつながります。

All for one, and one for all. No.24

H29. 5.11 「2年次進路保護者ガイダンス」

先の「生徒向けガイダンス」と連動させ、夜には「保護者向けガイダンス」を実施しました。3年次での複雑な選択群から、お子様が間違いのない科目選択をするための今後の流れや個別面談予定などを交えながら説明をさせていただきました。



後半では、お子様の模試分析を参照いただきながら、進学専門の外部講師を招いて、現在の入試状況や今後の2年次における学習計画について専門家ならではの具体的な説明を聞いていただきました。

関心をお持ちの保護者の皆様が多数来校され、真剣に耳を傾けている姿を目の当たりにし、私たちも改めて身の引き締

まる思いがしています。

2年次には「2年次の学習べき内容と量」があります。それを知っているか知っていないかでは大きな差が生じます。また、それを知っていたとしても、計画通りに進められるかどうかでまた大きな差がつきます。部活動等と両立させながら時間をうまく活用し、今すべきことを計画的に実践していけば、進路実現の可能性は極めて高くなります。

All for one, and one for all. No.25

H29. 5.11 「運動部高体連壮行会」

最上級生にとって3年間の練習の成果を出す「高体連地区大会」がいよいよ始まります。大会に参加する生徒を激励するため、文化部の生徒が中心となり嗜好を凝らした壮行会をLHRの時間に行いました。

各部長からの決意表明に続き、「茶道部」がお茶をたて、「LCC（ライフ・クリエイト・クラブ）」が手作りのお菓子を用意、「吹奏楽」が気持ちの高ぶる演奏を、「書道部」が部ごとに異なる激励メッセージを書き上げ、「美術部・写真部」が心をこめて作った色紙を各部に贈りました。

心温まるこの激励に、大会参加の生徒が燃えないわけはありません。必ず良い結果を持ち帰ってくれることでしょう。互いに相手を敬い、信じ、支え合う姿は、見ていて本当に清々しく頼もしいものです。大会結果も大事ですが、仲間との絆もまたかけがえのない宝物です！



All for one, and one for all. No.26

H29. 5.10～12 「宿泊研修2日目」

2日目最初の【研修6】は、将来の進路をイメージし、2・3年次での科目選択を考える「キャリア集会」、【研修7】は、ドッジボールを通して1年次全体の交流を図る「スポーツ研修」、【研修8】は、全校生徒による最大のイベント「永嶺祭」等での「生徒会の取組」や「生徒会行事ガイダンス」、【研修9】は学校祭に向けての「クラス討議」、【研修10】は再び「合唱練習」、そしてこの日最後の【研修11】では、心を落ち着け静かな時間の中で生きること



思いを深める「キャンドルサービス」で締めくくりました。

仲間に、教職員に、そしてこの研修を支えて交流の家のスタッフの皆さんに「感謝の思い」を伝えて欲しいですね。

この日も充実した一日となったようです。



All for one, and one for all. No.27

***エイリョウ・アラカルト 「永嶺打線、爆発！」**

高体連に先駆けて始まった「高野連旭川支部春季大会」。1回戦は13対2で快勝、好スタートをきりました。



野球部も確実に力をつけてきました。雪解けとともにグラウンドでの練習を始め、先の連休では強豪校と練習試合を重ねてきました。また、今年度新たに全道経験豊富な顧問が加わり、関係者も大きな期待を寄せています。

野球部は、部活動の「顔」としての要素を持っています。全道的にも、チーム数・部員数が最も多く、全校応援もあり、マスコミの取り上げ方も大きく、地域の注目も浴びます。それだけに、特に野球部の生徒には校内外を問わず、社会の模範となる言動をとって欲しいと思います。「旭川永嶺野球部」としての誇りを胸に、「挨拶」「時間厳守」「自己抑制」「忍耐」「向上心」「マナー遵守」など、あらゆる面で尊敬できる集団であることを願っています。



All for one, and one for all. No.28

H29. 5.10～12 「宿泊研修最終日」

最後の活動【研修12】は、この3日間で得た貴重な経験を踏まえ、今後3年間でいかに有意義に過ごすかを考える「高校生活プランニング」です。高校時代は、気持ち次第で将来が一変するほど大切な時期と言えます。一日たりとも無駄にせず、何事にも主体的に、かつ積極的に取り組む3年間であって欲しいと思います。

帰着した生徒の表情には、達成感と充実感が漲っていました。普段とは異なる環境に疲れもあると思いますが、大切なものを山ほど体得してきたはずです。その成果を今後の生活に生かした3年間となることを願っています。



All for one, and one for all. No.29

H29. 5.12 「ふれあい看護体験」

本校では、単位制の趣旨を生かし、多様な進路に対応するカリキュラムと進路に合わせたキャリア教育の推進に努めています。その一つに「ふれあい看護体験」があります。



「看護師」への道を考えている生徒も多く、高校時から少しでも医療に関心を持ってもらうことをねらいに、選択科目に「看護入門」と「看護医療概論」を置き、看護専門の外部講師を招いて、授業を実施しています。

同時に、医療や看護の仕事を体験するため、市内各所の医療機関と連携させていただき、実践を通した本格的な体験学習も行っています。

今年度は、3学年から28名、2年次から39名の生徒が各医療機関に分かれ、貴重な

体験をさせていただきました。

看護師になるには、上級学校への進学が必要です。本校では早期から計画的に学習を進めるため、2年次から「看護模試」を実施し、翌年の受験に備えています。

看護師を目指す中学生の皆さんも、是非本校で確実な力をつけ、夢を実現させませんか。



All for one, and one for all. No.30

H29. 5.15 「PTA合同委員会」

18時30分からPTA合同委員会を開催しました。各ご家庭においては大変お忙しい時間帯にもかかわらず、多数の学級委員の皆様がご参加くださいました。厚くお礼申し上げます。



前半の「学年（3学年）・年次（1・2年次）委員会」では、委員長・副委員長の選出に続き、「庶務・生活・広報」といった特別委員を選出していただきました。また、学年・年次独自の活動計画などについても活発なお話し合いをいただきました。こうした場を通して、情報交換はもとより、学校へのご要望やご意見を沢山お寄せいただきますようお願いいたします。

続いて行われた各特別委員会では、「PTA研修会」や「学校祭での模擬店・バザー協力」、「PTAだよりの発行」などについて、熱心に討議がなされました。

学校と家庭には、子どもの成長に関わるそれぞれの役割があります。だからこそ、教師と保護者が手を携え、常に両輪となって歩調を合わせ、支援していく体制が大切なのだと思います。今後も教育活動を一層盛り上げ、子どもたちにとって実り多き充実した高校生活になるよう、皆様のお力添えをお願いします。



All for one, and one for all. No.31

H29. 5.15 「春季避難訓練」

「避難3原則 → 押すな・戻るな・声出すな」を守り、迅速かつ冷静な行動ができること。これを避難運連のモットーにしています。



2階で火災発生、初期消火・通報・避難指示・避難と一連の訓練を終えました。この日は生憎の小雨模様のため、避難場所をグラウンドから体育館に変更し、消防署の方から防災のお話と講評をいただきました。

火災対策はもちろんですが、並行して、地域の実情に即した防災計画の見直し、安全体制の充実にも引き続き努めてまいります。

All for one, and one for all. No.32

***エイリョウ・アラカルト 「男子個人戦で見事優勝！」**

5月13日に行われた「国民体育大会北海道予選会」の旭川支部予選会で、2年1組の後藤 晴也 君が見事「優勝」、全道への切符を手に入れました。本大会で2名が全道出場、4名がベスト16に進出するなど、男女ともにこれから始まる高体連がとても楽しみです。

放課後に練習風景を見せていただきました。格技場に足を踏み入ると、生徒がしっかりと挨拶をしてくれました。スポーツ選手に限りませんが、特に「挨拶」は基本。勝敗も大事ですが、何より部活動は人間性の鍛錬の場であなければなりません。その後、気合いの入った練習が続きました。

凜とした空気の中に響き渡るかけ声は、見る人の心をもキリッと引き締めます。伝統文化の代表格である武道の素晴らしさを改めて肌で感じました。



All for one, and one for all. No.33

H29. 5.22 「花いっぱい運動」

今年で19回目を迎える「地域緑化運動」に100名以上の生徒が参加し、街路樹の周辺にきれいな花を沢山植えてくれました。この活動は、学校周辺にお住まいの地域の方々と連携し、きれいな町並みを共に維持していこうとするものです。登下校や通勤の際に、きれいに咲く花を眺めるととても心が和みます。



日頃の教育活動において、地域の皆様からご支援やご協力をいただけるのも、こうした活動を通して心を通わせ合っているからだと思います。皆が協力し街をきれいにしていくことで、心もまた一段と澄みきっていくように思われます。

All for one, and one for all. No.34

***エイリョウ・アラカルト 「男子弓道部、高体連地区優勝！、卓球部も続く」**

17日～19日に行われた「弓道」支部予選会で、男子が団体優勝を勝ち取り全道への出場権を得ました。

個人戦でも、3年生の 河野 基巧 君が見事優勝、全道大会出場の切符を手に入れました。男女ともに力をつけており、今後の活躍がますます楽しみです！





また、同日程で開催された「卓球」支部予選会では、強豪ひしめく中、女子が団体戦で2位となり、これまた嬉しい全道大会出場となりました！「卓球人気」がますます高まりそうです。

All for one, and one for all. No.35

H29. 5. 23～25 「陸上競技当番校」



記念すべき「第70回北海道高等学校体育連盟陸上競技旭川支部予選会」の当番校を務めさせていただきました。

初日は怪しい空模様でしたが、大会期間中、何とか持ちこたえてくれましたので「ホッ」としました。

今年度は22校、343名の選手が集う大きな大会となりました。本校陸上部主将の3年生 鈴木 悠生 君の感動

的な「選手宣誓」で幕を開け、3日間にわたり、トラックとフィールドで熱戦が繰り広げられました。

本校からは、男子4×100mリレーと個人100mの2年生 佐藤 叶人 君が見事「全道大会」への切符を手に入れました。

全道大会も今回と同じ「花咲陸上競技場」で行われますので、是非多くも皆様の応援をお願いいたします。直に見ると、選手の早さに驚きます！

大会運営にあたってくれました野球部とサッカー一部の皆さん、大変お疲れ様でした。



All for one, and one for all. No.36

*エイリョウ・アラカルト 「MDPサミット、近づく！」

5月28日（日）に、本校と駒大苫小牧、札幌国際情報の3校合同、総勢280名による「吹奏楽ジョイントコンサート MDPサミット 2017 in Asahikawa」を旭川市民文化会館で開催します。

「MDP」とは、「MARCHING & DANCE & PLAYING」の略で、演奏はもちろん、踊りやミュージカルまで楽しめる躍動感溢れるコンサートのことです。

ビッグバンド3校によるこのようなイベントはなかなか見られない貴重な機会でもあり、本番に向けた練習も万全、感動すること間違いなしです。迫力満点の演奏を是非多くの皆様に満喫して欲しいと思います。



All for one, and one for all. No.37

*エイリョウ・アラカルト 「文化部も負けていません、放送局が全道大会に！」

高文連上川支部第41回全道高等学校放送発表大会 兼 第64回NHK杯全国高校放送コンテスト北海道大会上川地区大会において、「ラジオドキュメント部門」で全道出場権を得ました。また、参加者の多い朗読部門で3年1組の 坂井 里緒 さんが3位となり、個人での全道出場を決めました。



「放送」には様々な部門があり、「創作ラジオドラマ」「ラジオドキュメント」「番組」「研究発表」「アナウンス」「朗読」など、実に多彩な活動を手がけています。それだけに部員も多いにこしたことはありません。1・2年次生で少しでも興味関心のある人は、是非、放送局で潜在能力を開花させてみませんか。

All for one, and one for all. No.38

***エイリョウ・アラカルト 「テニス部も全道出場！」**



22日～24日に行われた「テニス」支部予選会で、女子団体が準優勝し全道出場を決めました。強豪ひしめくテニス界にあって、実に素晴らしい活躍です。今年度からテニスを専門とする顧問が着任し、男女ともにめきめきと力をつけています。近く優勝するのが楽しみです！

All for one, and one for all. No.39

H29. 5. 29 「1年次進路保護者説明会」

単位制になってから2年目、本校の特色も徐々に浸透しつつあります。とはいえ、3年間の教育課程や教育活動の細部までは見えづらいものです。本校では、生徒に伝える同様の内容を保護者にもご理解いただくため、早い時期から定期的に「保護者向けガイダンス」を実施しています。



今回は2年次から始まる「科目選択」と3年間の「キャリア教育」の内容についてご説明をさせていただきました。特に単位制は、一人一人の大切な将来に合致する学習内容の習得を特色としているだけに、保護者の皆様にも早い時期から深くご理解いただき、お子様と一緒に明るい未来を語り合って欲しいと願っています。

お忙しい時間帯にもかかわらず、8割以上の保護者の皆様がご来校くださいました。単位制に移行してから、“国公立大”を中心に難関大への進学希望者が一段と増えたことも、関心事の要因となっているようです。1年次にやるべき学習内容を計画的に行うことで将来の夢が現実にすることができます。私たち教職員も全力でサポートしていきます！



All for one, and one for all. No.40

***エイリョウ・アラカルト 「次々に全道出場！」**

高体連の各種大会もいよいよ終盤にさしかかってきました。既に多くの部活動が全道への出場を決めています。嬉しいことに、新たに全道出場となった部活動が次から次へと続いています。



剣道部は、男子団体が決勝リーグ2位、女子個人戦で3年生の 佐藤 和奏 さんが3位

となり、それぞれ全道大会への切符を手にしました。



バスケットは、決勝で旭川北に僅差で敗れはしたものの、準優勝で順当に全道出場を決めました。

また、空手道（個人形）では 河合 桂吾 君が1年生ながら決勝で3位となり、全道大会出場の栄誉を得ました。



さらに、水泳では 3年生の 宮川 亜夢 さんが50m自由形と100m自由形で、同じく3年生の 高橋 美来 さんが200m自由形と400m自由形でそれぞれ全道大会に出場します。



全道大会は各地区を勝ち上がってきた強豪揃いとなりますが、けっして物怖じすることなく、日頃の練習の成果を思う存分出し切って来てください。

全校を挙げて応援しています！！

All for one, and one for all. No.41

H29. 5.30 「海外研修報告会」

新たな「学校教育目標」の冒頭は「国際的な視野を持ち～」で始まります。その目標のとおり、本校では国際交流・国際理解を積極的に推進しています。これからのグローバル化に対応できる資質は極めて重要であり、今後も様々な機会を設定していく予定です。



つい先だって、3年生の 中田 さくらさんと、2年生の 田村 廉太 君が旭川市との姉妹都市である韓国の水原（スウォン）市を訪れ、その時の内容を報告してくれました。

水原市は人口120万と言いますから、旭川市と比べると大変大きな都市になります。歴史的施設や旧城跡見学、地元の学校訪問、芸術、食文化、風土の違いなどをパワーポイントを使いながら報告してくれました。二人の話を聞いて、「次回は自分も行ってみたい」と思った生徒が沢山いたことと思います。中田さん、田村君、事前準備本当にお疲れ様でした。

また、お忙しい中、報告会に併せて国際交流についてお話しくださいました「旭川市都市交流課」の村田様には厚く感謝申し上げます。



All for one, and one for all. No.42

H29. 5.30 「旭川永嶺高新聞一第8号」



新一年生4名が加わっての最初の「永嶺高新聞」が本日発行されました（通算8号）。昨年度は3年生の 林 君一人しか局員がいなかったことから、取材、レイアウト、記事、印刷、配付など全てを局長一人がこなしてきました。ところが現在は5人。新しい局員がそれぞれに特集した記事が紙面を彩り、昨年度も見事な出来映えではありましたが、さらにバージョンアップしたような素晴らしい新聞となりました。次回の発行が待ち遠しいです。